

単元名 3 言葉に立ち止まる ー詩の世界

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 三つの詩の表現の特徴や内容について、理解することができる。
 (2) 三つの詩の表現の特徴を参考に、詩を書くことができる。
 (3) 詩の世界と三つの詩を読み、詩や文学を味わうための観点を考えようとする。

標準的な展開例

10210115_001

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 「詩の世界」(p. 68)を読み、詩を読み味わう観点や詩を味わうための観点を整理して、好きな詩の表現について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校で学習した詩の題名や内容、作者について振り返る。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 「詩の世界」を読み、詩を味わうための観点を整理しよう。 <p>○ 三つの詩から好きな詩の一つを選び、気付いたことや考えたことを書く。</p> <p>○ 選んだ詩について、自分の考えを友達と交流する。</p> <p>2 三つの詩の表現の特徴や内容について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 三つの詩の特徴や内容について知り、よさを味わおう。 ○ 前時に交流してまとめた学習プリントを用いて報告会を行う。 <p>3 三つの詩の表現や特徴を参考に、詩を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 三つの詩を参考にして、詩を作ろう。 ○ 詩の題材を選ぶ。 <p>○ 詩を書く。</p> <p>○ 読み合って感想を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 詩人や表現技法などにも触れる。 ・ 言葉のリズムや響き、言葉から連想されるイメージや、一語や一行、連の書き表し方などの観点到に着目させる。 【評】詩を味わうための観点を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 三つの詩を音読させ、一番気に入った作品について、観点到に沿って自分の考えをノートにまとめさせる。 ・ 同じ詩を選んだ生徒同士で3～4人のグループを作り、考えを交流させる。 ・ グループ内で出た意見をまとめさせる。 ・ 前時にまとめた学習プリントを見直し、自分たちのグループの詩の味わい方について説明するための打ち合わせをさせる。 ・ 詩を音読して報告をさせる。 ・ 発表を聞いて思ったことを学習プリントにまとめさせる。 【評】詩の味わい方を報告する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・ 「題材を選ぶ」(p. 72)を参考に、詩にしたい題材を発表させる。 ・ 三つの詩の印象に残った表現や、「印象に残った表現を参考に、詩を書く」(p. 72)を参考に、詩を書かせる。 【評】詩を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ 3～4人のグループを作り、詩を発表させる。 ・ グループで交流し、感想や意見交換をさせる 【評】グループでの交流活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

詩には日常的な言葉でありながらも、普段とは少し違う言葉や表現が見られる。そうした詩の言葉の豊かな表現に触れ、ものの見方や感じ方を広げさせたい。

また、主体的に表現できる力を育てるためには語彙力や表現力を身に付ける必要がある。観点的分析、語彙の想起、表現の精緻化といった段階を踏んだ指導が必要である。

言葉には人々を動かし、人々をつなげる力がある。自分の考えや思いを適切に表現できるようになれば、多くのひととのつながりができる。そのような言葉の力への気付きを育むことも大事にしたい。